



ニッポン
ドクター和の
臨終図巻

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

1986年は、僕にとつて忘れ

られない年。研修生活を終え大阪
大病院の勤務医として新たな医
者人生のスタートした。同じ年、
ここで大阪風味の法律相談番組
『パラエティー生活笑百科』(N
HK・毎週土曜放送)の司会が初
代・西川きよしさんから、この人
に引き継がれました。

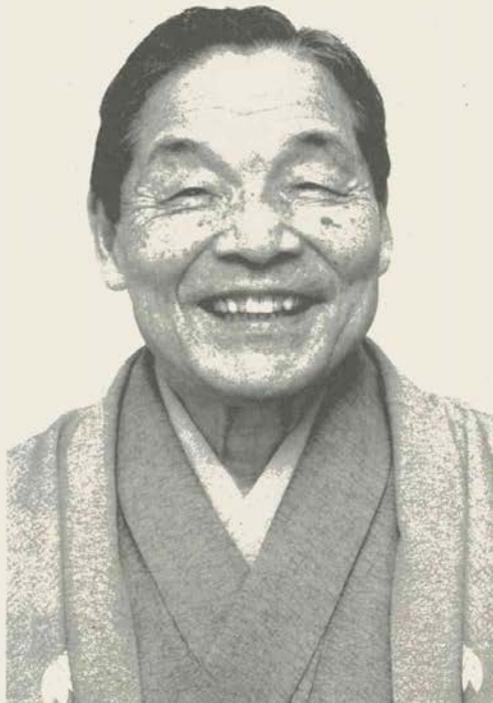
「四角い仁鶴が、まあるくおぞ
めまっせ〜」

あの声を何百回も聴きながら、
僕は大病院で医学者として鍛え
られました。1週間の張り詰めた
心を落ち着かせるような、癒やし
の言葉でもありました。

上方落語家の笑福亭仁鶴さんが
8月17日、大阪市内の自宅で亡く
なりました。享年84。死因は、骨

219 上方落語家 笑福亭仁鶴

ラブラブの人生やっただんですね



髓異形成症候群(こしずいけい
せいしようこうぐん)との発表で
す。

この病気は、僕が若い頃は、
「前白血病状態」、もしくは、
「くすぶり型白血病」という名前
で呼ばれていました。赤血球・白
血球・血小板の工場である骨髓に

異常が起きる病気です。白血病の一
歩手前の状態と言われますが、白
血病ではありません。

初めてこの病名を聞いた人も多
いことでしょう。しかし、高齢者
ではそれほど珍しい病気でもない
のです。貧血症状が続き、倦怠
(けんたい)感があり、皮膚に青
あざができるようであれば、血液
検査と骨髓検査でその診断されて
も、症状が軽ければ、経過観察の
みで治療をしないこともまあり
ます。ただし、血液検査でヘモグ
ロビン値が8以下になった場合
は、輸血の適応とされています。

仁鶴さんがどれくらい進行して
いたかはわかりませんが、前日ま
でお元気で過ごされていたこのこ
と。平穩死だったと推測します。

御縁あってこの数年、何度か僕
は仁鶴さんに会いました。とても
穏やかでお優しい方でした。しか
し、あまりお元気でなかった。
聞けば、2017年に奥様の隆子
さんを亡くされて、ふさぎ込む日
が続いていたとのこと。32年間、
1度も休むことなく続けていた
『生活笑百科』の司会も、初めて
お休み。その後、お弟子さんが続
くように亡くなった心労から体調
が悪化。人と会うのがしんどくな
ったといいます。しかし、孤独だ
ったわけではなく、多くのお弟子
さんや親族の方がいつも近くに
いて、世話をしていました。

妻の死をきっかけに、急激に弱
る男性はごまんといえます。情けな
いでしょうか？僕はそうは思ひ
ません。「ラブラブの人生やっ
たんですねえ」と仁鶴さんにお話
したとき、ニッコリと微笑んだ表情
が、僕の目に今も焼き付いていま
す。